

低酸素水塊動向調査結果

資料：内湾底びき網連絡協議会による低酸素水塊調査（7/11）

水質観測（7/18 東京内湾：わかふさ）

低酸素水が広範囲に広がっています。注意してください！

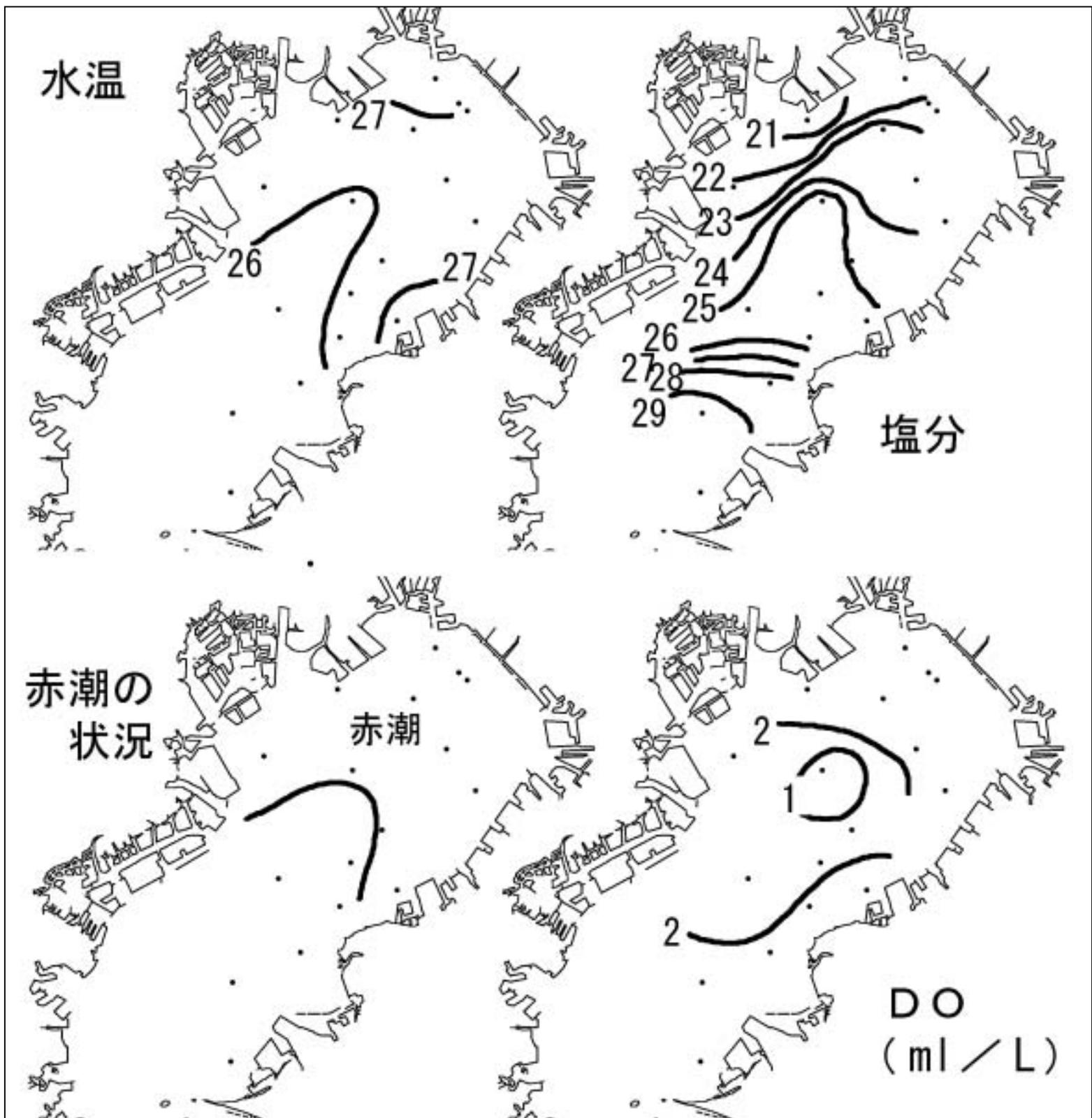


図1 表層の水温，塩分，赤潮の状況と底層のDO（7月18分）

水温・塩分の状況（図1，2，4表1）

表層の水温は25～27 でした。塩分は20～29で湾奥西部が低くなっています。

縦断面の鉛直分布をみると水温は19～27 ，塩分は22～33でした。水深10m付近で水温・塩分の躍層がみられます。

低酸素水塊の状況（図1，2，4）

底層で溶存酸素量（DO）2ml/L以下の海域が広がっています。躍層により今後は上下の水交換がおこなわれにくくなるので、低酸素水塊が発達しやすくなります。注意してください。

赤潮の状況（図1，3，表1）

湾奥部～木更津周辺で赤潮です。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は20～230 μg/Lでした。

赤潮の主なプランクトンは珪藻と渦鞭毛藻類の混合されたものです。とくに珪藻のスケルトネマ（*Skeletonema sp.*）や渦鞭毛藻のケラチウム（*Ceratium fusus*）が特に目立ちました。

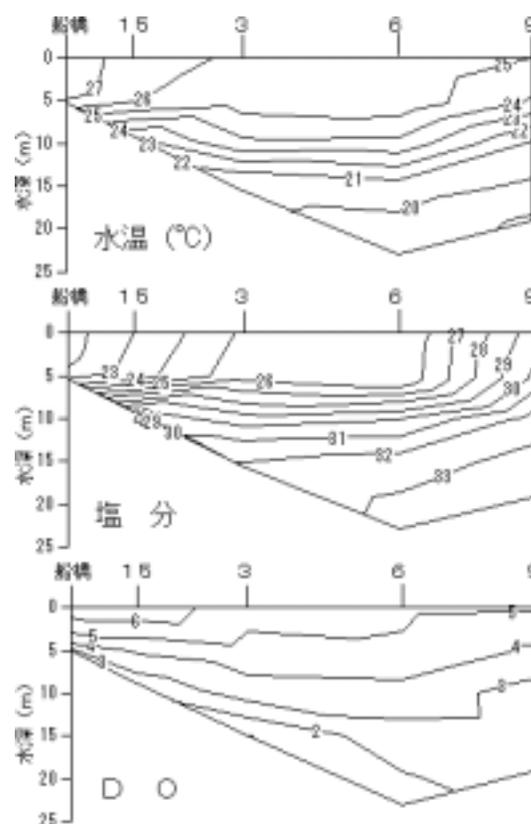


図2 内湾縦断面の鉛直分布

表1. 水質調査結果(表層)

調査日: 7月18日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	クロロフィルa量
船橋	0.9	27.8	21.6	*8.7	123.8
St. 15	0.9	26.4	23.0	*8.7	95.7
st. 3	1.4	25.9	25.2	*8.7	38.9
St. 6	1.5	25.9	25.0	8.7	38.7
St. 9	1.9	25.1	29.4	8.6	20.2
盤洲Cブイ	1.3	27.2	25.1	8.7	60.2
St. 8 (盤洲Aブイ)	1.8	25.9	28.8	8.7	27.2

*は8.7以上です

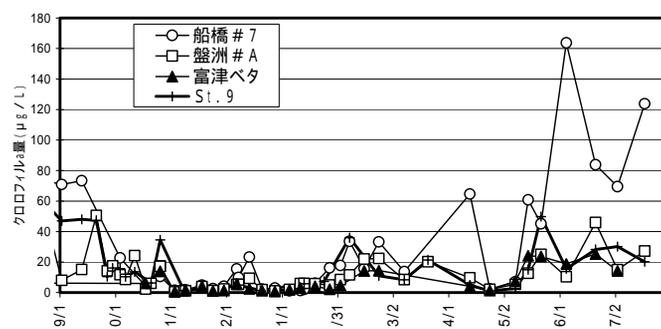


図3 クロロフィルa量の変化

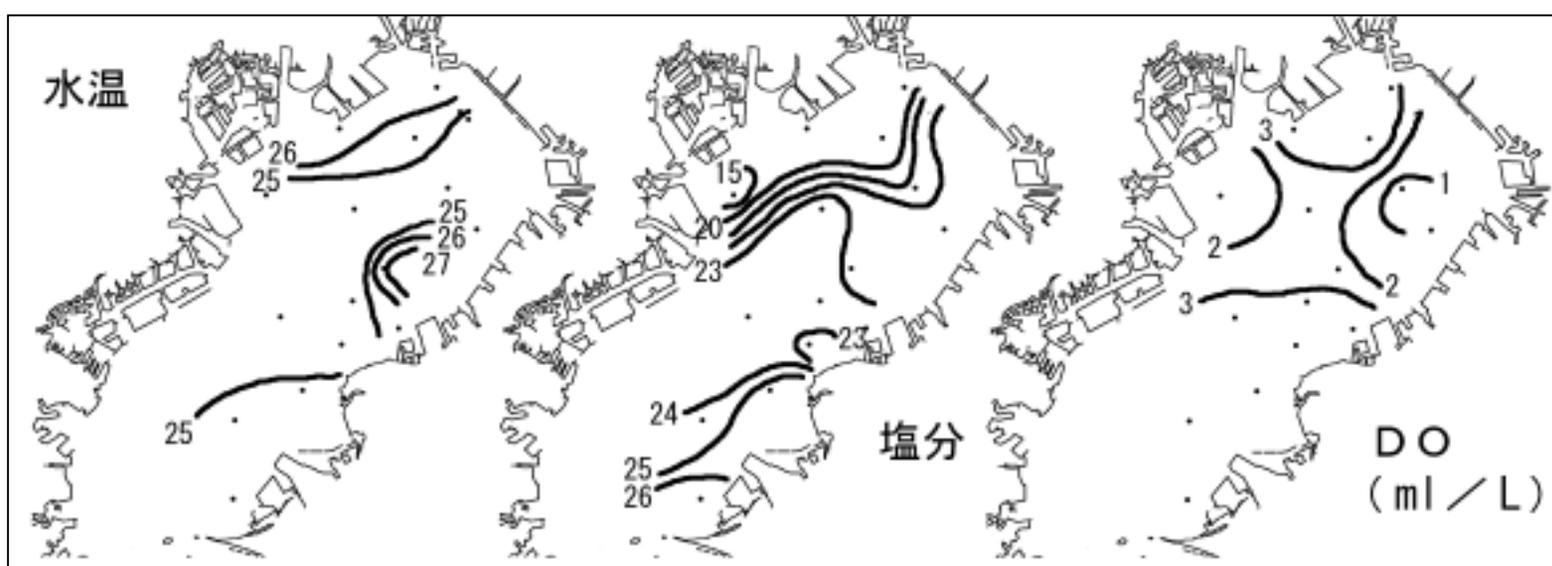


図4 表層の水温，塩分，底層のDO（7月11日分）